

# 湯河原ロータリークラブ



## WEEKLY REPORT

ロータリーを实践し  
みんなに豊かな人生を

第 2531回 例会  
平成26年3月28日(金)  
天候 曇り  
合唱 それでこそロータリー  
四つのテスト

会長 渡辺 久恭

幹事 石田 浩二

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内  
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

### 会長挨拶

3月20日(木)に会長幹事会が御座いました。抜粋して報告させていただきます。まず地区カレンダーが配られました、正式には4月20日(日)の東海大学 湘南キャンパスで行われる地区研修協議会で配られます。まず、その中で、ガバナー公式訪問：9月26日(金)地区大会：10月18日(土)、19日(日)ホストクラブ：横須賀RC第9グループIM：1月21日(水)ホストクラブ：小田原北RC次年度の新会員の集い：5月22(金)~23日(雪の心配は無くなりました。)国際大会：6月7日(日)~10日(水)ブラジル・サンパウロで行われます。END PORIO NOWキャンペーンについて、地区から箱根RCの田代様に参加して頂き、活動の報告等して頂きました。本年度は今までに各グループ、各クラブで19の活動が行われ、第9グループだけが、これまで、行っていないと言う事で、何とか第9グループで行うよう、田代様が一生懸命に説明してくれました、今までの活動経験の中で、風船が一番経費をかけず、効果があるそうで、また、おじさん達の集団より青少年達の協力を得た方が、良いと言う事でした。北条五代祭り等の案がでしたが、色々障害があり難しく、湯本の商店街はほとんどが、観光客なので、地域の公共イメージの向上には、あまりつながらないと言う事で5月18日(日)又は5月25日(日)に小田原のポケットパークで行う案が濃厚に成りました。ガバナー月信5月号に9グループが載ります。

### 幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

- シドニー国際大会の信任状の送付  
自クラブから信任状を持参する選挙人がいない場合は同一地区内のロータリアンであれば委任することが出来ます。信任状を持参・委任しなかった場合は投票権を放棄したものとみなされますが、特別なペナルティや督促はありません。

ガバナーより

- 2012-13年度100%「財団の友」会員のクラブ及び「Every Rotarian Every Year」クラブの表彰  
貴クラブは両方に該当し2つの表彰を受けられました。おめでとうございます。  
登壇者：会長 渡辺久恭
- 地区協議会クラブ奉仕部門よりアンケートのお願い  
回答期限：3月31日
- 第3回地区アクトズミーティングへご出席のお願い  
日時：4月12日(土)13:30~16:30  
場所：相模原市総合学習センター  
登録締切：4月4日
- 米山奨学生オリエンテーションのご案内  
日時：4月12日(土)  
13:30~14:00 受付・登録  
14:00~17:30 オリエンテーション  
17:40~19:30 学友会による歓迎会  
場所：かながわ女性センター(藤沢市江の島)  
持ち物：カウンセラーハンドブック  
対象者：神谷一博・常盤章夫  
登録締切：4月4日
- 4月のロータリーレート 1ドル102円  
米山梅吉記念館より

- 米山梅吉記念館春季例祭のお知らせ  
日時：4月26日(土)14:00~  
場所：米山梅吉記念館ホール  
登録料は無料です。  
多くの皆様のご参加をお待ちしております。
- 報告事項
- 4月の例会は、4日・11日・18日・25日の通常例会です。  
尚、4月20日は地区協議会です。

湯河原ロータリークラブ

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 24名
	欠席 2(免除者 0名)		出席率 91.67%
	前回の修正出席率 95.83%		前々回の修正出席率 100.00%

事前メイクアップ 0名

## スマイルBOX

結婚記念日 西山敦君(3/28)  
夫人誕生日 高橋延幸君(知代様・3/18)  
入会記念日 高橋延幸君(11年・H14.3.8)  
高知尾朝行君・石田浩二君

平成25年度観光協会の通常総会が無事終了しました。  
山本明峰君 土肥祭の「のぼり旗」が立ちました。  
関係各位にはよろしくお願い致します。  
高知尾朝行君・石倉幸久君・杉山茂久君・渡辺久恭君・  
望月博文君  
杉山茂久君の古希のお祝いをしました。

## 卓話

細谷信雄君

今回の卓話は施設の新人研修で私が講師をしている中の「認知症」について、中でも認知症の方をケアする上で、施設職員に気をつけなければならないと話していることについて、お話しします。高齢者を介護していく上で避けて通る事のできないものが「認知症」です。当施設で何らかの認知症がある入所者は定員100名中、7割を超え、30名定員の認知症の方のみが生活している認知症専用フロアがあります。寝たきりの方にも認知症がある方もいますが、認知症専用フロアは、予測できない行動をされる方ばかりなので、24時間必ず職員を2名以上配置しています。

まず、新人研修で、あなたが思う認知症って何？という質問から始めると、「記憶力が無い」「徘徊」「介護への抵抗」「異食」「不安」「攻撃的行動」「幻覚」「妄想」「睡眠障害」などが出てきます。答えは、認知症は簡単に言うとなんか『病気』と話しています。

認知症で必ず見られる症状は、①記憶障害 ②見当識障害(今がいつなのか、ここは何処なのか分からない)

③判断力の低下の3つです。

これら①～③が重なって初めて認知症と診断されるので、周辺症状が一つ二つあるからといって必ずしも認知症ではないのです。なぜなら、精神障害や高齢の為とか、身近な所で言えば泥酔などにより、上記行動が出現することもあるからです。

症状として前述の行動が現れ、これらを我々介護する側は、問題行動と呼んでしまいます。問題行動は介護側から見てそう呼んでしまうことであり、認知症の方本人からすれば問題行動ではなく、自然な行動なのです。しかし、「わかっているけどできない」これが介護の実態であり、介護の難しさです。介護する側は「同じ話を何回もした」など覚えています。認知症の方にとってはいつでも初めてです。いつでも「初めまして」なのです。

認知症の症状には、本来人間が無意識で行っている動作を忘れてしまう症状が出る方もいます。「どうすれば歩けるのか」などが判らなくなることです。自然にバランスを取って、足を左右交互に出せばいい事、つまり歩き方を忘れてしまうのです。

『認知症のケア』をする上で

☆認知症の方には、記憶に障害があるから認知症・病気の自覚がなく、その時初めて話したし、初めて聞いたこと。

☆見当識障害があるから、相手に自覚がない事を常に意識して接する必要があります=相手に合わせてあげること。

☆介護における難点と言われているのが、自尊心(プライド)や感情は大人のままであること。を頭に入れておく必要があります。

認知症の方を介護する上で興奮して言い返すことは禁物です。なぜなら本人はそう思っているし、信じているし、本当に見えているのです。認知症の方は本当に困っていると理解する必要があります。きちんとしたケアができていないと「理由なき身体拘束」「虐待」へ向ってしまうことがあります。

認知症ケアの中の一つの原則に、受容の原則があります。これは、話を否定したり、説得せず、「話を合わせる・話につき合う」ということです。職員には「言葉使いが悪かったり、行動を制限しないこと。叱るのはダメ、皆さんはペットの調教師ではなくプロの介護員になるのです。第三者からはプロとして見られます。」と話しています。

実は認知症のケアにこれが正しいといえるものではなく、算数のように答えがひとつではありません。なぜなら、症状は個々で異なり、前にこうやって成功したからといって次に成功するとは限りません。色々試してみても様々な経験をして、仲間と情報交換をして、その中で当てはまるものを選んでいく。それには知識、技能や経験の引き出しがたくさん必要となってきます。

いくら認知症があるとはいえ、「この人は味方、この人は敵」を瞬時に判断しています。最初から敵意を見せて(仏頂面や怒っている・不機嫌そうな表情)で、利用者へ接すると第一印象で敵となります。反対に丁寧に笑顔で接すれば、味方とわからなくても少なくとも初対面では敵でないことが伝わります。ここから仕事に取り掛かれます。

話し方1つで認知症の方の態度が変わります。同じことの繰り返しでもいいのです。何故?、それが介護だから、仕事だから・・・何故?相手は認知症、初めて聞いたから、その方の行動を受け入れる事が大切であり、色々な人の意見を参考にしながら、ケアの仕方を皆で考えていく事が大切です。全ての問題行動がなくなる訳ではありませんが、少なくともはなります。まずは一呼吸おいてから利用者へ穏やかに接し、穏やかな雰囲気をつくるのが、認知症のケアには大切です。